

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2023年4月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2023年4月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469	467	571
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841	85,507	111,183
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388	358,445	359,637
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003	54,041	51,650
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417	52,319	49,931
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586	1,721	1,718
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557	155,331	154,837

年 月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	503											
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,285											
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	360,441											
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	52,386											
一般顧客	50,017											
金融法人 (BtoB)	2,368											
マネパカード口座数 (単位: 口座)	154,562											

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 4月次の概況 >

4月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=133円台前半で取引が始まり、5日には米3月ISM製造業景気指数が弱い結果となったことや米金利が低下したことを受け、米ドルは下落し一時130円台半ばとなる月中安値を付けました。週明け10日には植田日銀新総裁の就任会見で金融緩和策の継続が強調され米ドルは一時133円台後半まで値を戻しましたが、13日にはFRBによる利上げが続くとの見方が後退したことにより132円台前半まで下落しました。翌14日には米ドルは上昇に転じ、19日には「日銀は4月会合でのYCC修正に慎重」との報道を受けドル買いが強まり一時135円台前半まで上昇しました。25日には米中堅銀の金融システム不安が再燃し景気の先行き不安から米ドルは一時133円台半ばまで下落しましたが、28日には日銀金融政策決定会合で大規模な金融緩和策の維持を決めたことや、植田日銀総裁の会見で早期金融政策修正観測が後退したことにより米ドルは前日から約3円上昇し月中高値となる一時136円台半ばを付け、136円台前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、各通貨とも円に対して上昇傾向での推移となりました。

外国為替相場の変動率は、2022年2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、高い水準が続いているものの、当月の1日の平均値幅が1.269円(前月は1.653円)に縮小した米ドル/円をはじめ、ほとんどの通貨ペアで1日の平均値幅が前月より縮小したことから、全体として前月を下回り膠着気味となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭(売買同値)の提示を続行しております。なお、2022年11月16日より業界初の標準化をいたしました。

また、ゴールデンマネパタイム(17時から27時まで)におけるスプレッド縮小の取組みも継続して実施しております。「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする15通貨ペア以上で、パートナーズFX・パートナーズFXnanoともに業界最狭水準スプレッドの提示を続行しております。その他にも、取引数量に応じたデジタルギフトキャンペーンをはじめ、指値注文の約定に応じたキャッシュバックキャンペーンや、主要通貨であるユーロ・ポンド・豪ドルの対象通貨ペアでの新規取引数量に応じた最大200万円のキャッシュバックキャンペーン等、様々なキャンペーンを実施しております。

マネーパートナーズでは3月18日にスマートフォン用取引アプリとして新たに「FX取引アプリ」をリリースしました。本アプリでは、これまで別々となっていたパートナーズFXとパートナーズFXnanoを1つのアプリで取引可能となり、トレンドラインの描画やプッシュ通知機能が新たに追加されております。また、アンケートも実施しておりますので、アンケート回答でいただいたお客様の声を反映し今後もより良いお取引環境の構築に取り組んでまいります。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比35%減少の72,285億通貨単位となりました。営業収益は、トレーディング損益及びシステム関連売上高が減少し、前月比12%減少の503百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ増加し、全体では前月比736百万円増加の52,386百万円となりました。

当社は2023年3月15日開催の取締役会において以下のとおり配当方針を変更し、配当性向の用途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っております。同日付の期末配当予想における2023年3月期の年間配当は1株当たり12.75円となっており、6月開催予定の定時株主総会において期末配当が承認された場合には配当利回りは5.12%となる見込みです。

(注) 配当利回りの計算において使用した株価は、上記方針変更の取締役会決議日である2023年3月15日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である249円としております。

以上